

母校文化祭コーヒーショップ佐世保支部出店

佐世保支部長 中田 敦典 (10E)

2025年11月2日(日)母校にて文化祭が開催され佐世保支部は創立50周年記念館(八角堂)でコーヒーショップを出店しました。当日は天候に恵まれ264杯と過去最高の売上となりました。

コーヒーショップは専攻科学生の吉村さん33E廣重さん、37C田平さんと友廣会長によりコーヒー抽出と販売、販売促進をやっていただきました。

また同窓生有志を中心としたシブバンドの皆さんによる楽器演奏を行っていただきました。12M山口さんと妹さん、13M五反田さん、16E池田さんと奥様、47C嘉悦さん、シブバンドを支援してくださる福田さん、早田さんには前日朝から音響機器の搬入、機器接続、楽器音出し、リハーサルをされ当日の準備をしていただきました。

当日のシブバンドの皆さんによる演奏と歌声そして語りは八角堂をLIVE会場に変えてしまう魅力あるもので、このLIVEに居合わせた在校生の皆さんが「私も歌いたい」と自ら前に出てきてシブバンドの皆さんと一緒に歌ってくれました。在校生の皆さんと同窓生との交流が深まった瞬間です。このコーヒーショップ出店が今後さらに在校生の皆さんと同窓生との交流を深めるものとなる事を願っています。



(八角堂 [創立50周年記念館] 中での記念写真)

【会員投稿】

10期古希同窓会を開催(佐世保)

世話人代表 北島 廣之 (10M)

2025年10月22日(水)10期古希同窓会をセントラルホテル佐世保で開催し、58名(機械:25名、電気:18名、化学15名)の同窓生が集まりました。10期生合同で同窓会を開催するのは卒業後初めての事です。

一昨年10月19日(土)唐津市内で古希同窓会世話人会を発足し、11名(機械:5名、電気:3名、化学:3名)の世話人が集まりました。その後2025年2月、7月、10月と打ち合わせを重ね、仲間の連絡先の情報交換で名簿整理を進め、当日の手順・式次第、レイアウトや役割分担などの準備を進めてきました。

当日の開始前には25名が母校を訪問し、八角堂(創立50周年記念館)に集合したあと校舎・体育館・武道館・グラウンド・西雲寮など、青春時代を過ごした思い出の学び舎を巡りました。

夕方5時に全員が会場に集まり記念写真撮影を行ったあと、残念ながら既に亡くなった同窓生たちに黙禱を捧げました。

定刻に司会の進行によって同窓会がスタート。乾杯の後暫くは席についたままで全員が20秒スピーチで近況報告を行なった後、会場は一気に盛り上がっていきました。学生時代の懐かしい思い出話に花が咲き、瞬く間に時間は過ぎていきました。

場所を移した二次会は、46名が肩を寄せひしめき合うように座りました。中には立ち飲みする人やカウンターでお酒を作る世話人もいて、一体感にあふれ学生時代に戻ったような感覚で大いに盛り上がりました。

また会える日までみんな元気でいてくれ!

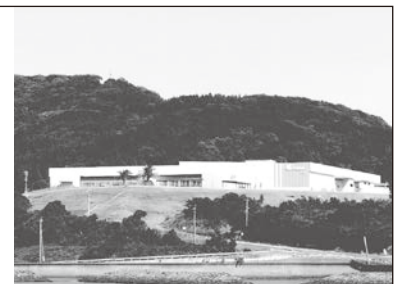
chukoh 中興化成工業株式会社

1963年松浦市で創業以来、ふっ素樹脂を主力とした高機能樹脂の総合加工メーカーとして歩んできました。佐世保高専卒業生は21人が在籍し、お客様の課題にソリューションを提供するために国内外で活躍しています。

F1 松浦工場:長崎県松浦市今福町北免 1642-12 TEL:0956-73-8111 (代表)

機械工学科
18期卒業

取締役 執行役員
松浦工場 工場長
大久保 篤



世話人

(M)佐伯善春、森 秀美、北島廣之、竹市 浩、
福岡 修

(E)大久保達、浜田義秀、中田敦典

(C)山口光吉、松尾義満、今里英雄、吉田興子

本部・各支部 同窓会活動への提言

寺田 正保 (6M)

佐世保高専同窓会は、1966年3月の一期生卒業と同時に結成され、2026年3月をもって創立60周年という大きな節目を迎えました。これは、母校と卒業生が長年にわたり築いてきた信頼と連帯の証であり、次の時代を見据えた同窓会の在り方を考える好機でもあります。

同窓会会報や支部総会、関係各位からの情報を通じ、佐世保高専卒業生が、技術者・現場管理者・経営者など、ものづくりを支える中核人材として社会の第一線で活躍している姿に触れるたび、同窓生の一人として大きな誇りと心強さを覚えます。高専教育が社会に果たしてきた役割は極めて大である、と断言できます。

今後も現役の後輩諸君が母校と高専教育に誇りを持ち、社会で力強く活躍し続けるためには、社会の先輩である同窓会が、後輩への支援と伴走を担う存在であるべきでしょう。しかし現状を見ると、①活動が地域中心で内向きになりやすいこと、②若手卒業生の参加が少なく世代間の断絶が生じていること、③デジタル発信やオンライン交流が十分でないこと、④さらには親睦中心に留まりがちな点など、課題も少なくありません。

私事で恐縮ですが、子供たちが卒業した三田会、稲門会、学士会との関わりから、私は多くを学びました。中でも三田会の結束力と面倒見の良さは際立っており、強固な人的ネットワークが社会的価値を生み出しています。これを踏まえ、佐世保高専同窓会の目指す姿を「ものづくりと地域を支える“技術者の三田会”」と位置づけたい。その実現に向け、①若手卒業生の就職・転職・起業をOBの技術と人脈で支援する人材支援ネットワーク、②OB企業・行政・高専が連携し地域産業の課題解決に取り組む協働体制、③ベテランOBの知見を体系化し次世代へ伝える技術の伝承と発信、の三つを柱として提案し

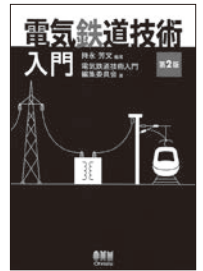
ます（一部の活動は認識しています）。

今後は同窓会本部が中心となり、各支部と連携しながら、これらを体系的で具体的かつ継続的な活動として展開されることを強く期待します。

同窓生の書籍ご紹介

東京支部長 加椎 玲二 (11M)

1Eの持永さんが2025年3月に下記の専門書を発刊されております。昨年の会報に記事が間に合いませんでしたので改めてご紹介



します。『持永編著「電気鉄道技術入門 第2版」オーム社』

<https://www.sasebo-ct.net/news/5435.html>

電気鉄電気鉄道のルーツを訪ねて先人に学ぶ

電気工学科卒 持永 芳文 (1E)

昭和42 (1967) 年に卒業して早いもので59年になります。当時、東海道新幹線が開業して間もない国鉄に就職して、暫くして鉄道技術研究所で主に新幹線電車への電力供給(き電)に関する研究・開発に従事し、現在は2016年から鉄道用電力機器メーカーの技術顧問です。

喜寿も過ぎ、この歳になると、勤務先に限らず、鉄道関係者から当時の技術開発・発展の経緯について良く尋ねられるようになりました。2025年春から秋にかけて、日本における水力発電の原点である京都の蹴上発電所と、その電力を利用した京都電気鉄道及びその後の京都市電について、調べてまとめる機会が有りましたので紹介します。

そこでは、明治期の東京遷都を経て寂れる京都を憂いた第3代京都府知事・北垣国道が工部大学校(東京大学工学部の前身)を卒業したばかりの田邊朔郎を起用して、1885年に琵琶湖疎水の工事を始め、大津～鴨川合流まで約12kmが1890年に完成しています。途中10kmの蹴上には36mの落差があり、1891(明治24)年に日本で初めての事業用水力発電所の一部が完成しました。引き続き

発電機は増設され、5号機・6号機の直流500Vの電力を用いて、1895年に実業家・高木文平により日本初の京都電気鉄道が架空単線レール帰線式で開業しました。しかし、電圧の不安定、月に2回の疎水の水藻刈り、発電機の故障でしばしば停電して、1899年に京都駅の南に自営火力発電所を開設して電力を切替えています

その後、第2代京都市長・西郷菊次郎（隆盛の長男）が、第2疎水7.4kmの建設、上水道の建設、道路の拡張と市電の開業の京都三大事業を実行しました。第2蹴上発電所は1912年2月に完成し、安定した電力を用いて、東京物理学校創始者の一人で京都帝国大学理工科大学教授・難波正を顧問として、同年6月に架空複線集電式で京都市電が開通しました。その後電車は、徐々にレールからの漏れ電流対策が研究・施されて、1950年頃までに現在の架空単線レール帰線式に変更になり、今日の快適な高速電気鉄道に至っています。

温故知新のことわざのように、歴史を辿ることで新しい発見があります。これからも歴史を訪ねて気持ちを新たに、元気を保ちたいものです。



(蹴上船溜り)



(京都電気鉄道)

<参考文献>

- (1)持永芳文・宮本昌幸編著「鉄道技術140年のあゆみ」
コロナ社、2013年1月
- (2)持永芳文編著「電気鉄道技術入門 第2版」オーム社、
2025年3月

【全国大会出場等の部活動報告（在校生）】

男子バスケットボール部

機械工学科5年 市瀬 流生

私たち男子バスケットボール部は昨年度、51年ぶりとなる全国高専大会優勝を果たしました。今年度はそんな高いプレッシャーの中で始まった1年でした。とても頼りになる先輩方が引退し、始めは何もかも上手くいきませんでした。ですが、部員全員が協力し合い最高のチームへとなっていました。結果については九州高専大会で優勝し全国大会出場を決め、全国大会では準優勝という悔しい結果に終わりました。来年度はこの悔しさを胸に後輩達が全国優勝を成し遂げてくれることを期待しています。この部活での日々が長い高専生活の中で最も自分の成長に繋がったと確信しています。最後の最後まで私たちチームを信じ指導して下さった顧問の先生方、コーチ、OB、保護者の方々、また応援していただいた佐世保高専同窓会のみなさまに大変感謝しています。今後とも私たち男子バスケットボール部の応援よろしくお祈いします。



(バスケットボール部)

水泳部

物質工学科4年 竹市 綾乃

私たち水泳部は、現在は学校のプールが使用できない状況にあります。しかし、部員一人ひとりが近隣の公共施設を利用したり、陸上トレーニングに励んだり、限られ



〒852-8002 長崎市弁天町3番16号
TEL : 095-864-7000 FAX : 095-864-7001

卒業生
代表取締役 北口 功幸
機械工学科 20期 卒業

Industrial Automation・Office Automation・Webの3つの事業を通じて、日本の西の果て「長崎」から世界を攻めている企業です！
自動化（オートメーション）の最適な技術を提供いたします。



21E 栗田 浩一
27E 大田 義之
44M 柴山 晃一
57S 長尾 舞琴

た環境の中で自分たちにできる練習を積み重ねています。

7月の九州沖縄地区高専大会において、男子で全国高専大会に出場することは叶いませんでした。一方、女子はリレー種目を含む7名が2位以内に入賞し、揃って全国高専大会への出場権を手にすることができました。

八月の全国高専大会では、惜しくもリレー種目の決勝進出こそ逃したものの、個人種目において二名が見事決勝へと駒を進め、入賞という素晴らしい成績を取ることができました。また、全国高専大会出場につきましては、同窓会の皆様より多大なるご支援、ご声援をいただきましたことに、部員一同心より感謝申し上げます。皆様の温かいサポートが、私たちの大きな励みとなりました。

水泳部の来年度の目標は、ベストタイムを更新し、男女揃って全国の舞台に行くことです。そのために、より一層練習に励んでいきます。今後とも水泳部への温かいご声援をよろしくお願いします。

女子バレーボール部

電子制御工学科5年 松尾 結佳

日頃より女子バレーボール部を温かく見守っていただき、誠にありがとうございます。

昨年、あと一步届かなかった全国優勝の座を目指し、この一年間「今年こそは」の想いで練習に励んでまいりました。結果は再び全国準優勝となり、悔しさは残りますが、皆様の多大なるご支援とご声援のおかげで、再びこの舞台に立てたことを心より感謝申し上げます。

チームスポーツゆえの難しさに直面することもありましたが、先輩方が築き上げてこられた伝統を胸に、仲間と切磋琢磨した時間は何物にも代えがたい宝物となりました。

陸上部

電子制御工学科4年 横田 公希

今年度の活動として大きな転換点は、3月に長崎市で実施した学生主導の合同合宿です。コロナ禍以来初の取り組みであり、手探りでの運営になりましたが、新しい

知識や取り組む姿勢など様々なことを学ぶことができ非常に有意義で刺激的な時間となりました。その成果もあり、春の高総体等各種大会では昨年より大幅にベストを更新し日々の練習の成果が実を結んだ選手が多く見られました。九州高専大会では、女子が見事に3連覇を達成し、部全体の勢いを大きく押し上げました。男子も個人種目で全国高専大会に出場しただけでなく、4継やマイルでも全国の舞台に立つことができ、チームとして確かな成長を実感できた一年となりました。来年度はこれらの成果に満足することなく、男子は総合3位以内、女子は総合4連覇という新たな目標を掲げ、さらなる記録更新と全国で戦い抜く力の強化を目指します。部員一人ひとりが高い意識を持ち、互いに切磋琢磨しながら、より良い陸上競技部をつくり上げていきます。

同窓会の皆さまには九州高専大会や全国高専大会をはじめ日々の活動でも多大なるご支援と応援をいただいております。今後も佐世保高専の名に誇りを持ち、陸上競技を通じて立派な人間に成長できるよう精進したいと思います。今後ともよろしくお願いします。



(陸上部)

吹奏楽部

電気電子工学科3年 朝長 輝

吹奏楽部は、昨年7月に行われた第70回長崎県吹奏楽コンクールに出場し、22年ぶりに九州大会へのキップをつかむことが出来ました。九州大会では「最低でも銀賞を取ろう」という目標のもと、部員一同精一杯練習に励みました。8月に鹿児島で行われた第70回九州吹奏楽コンクールでの結果は、目標にしていた銀賞を受賞しました。大学生が相手の中、銀賞を受賞できたことはとてもすご

いことだと思っています。顧問の先生方をはじめ、保護者の皆様、OB/OGの方のご協力本当にありがとうございました。また12月に行われた長崎県アンサンブルコンテストでは木管3重奏が2年連続で金賞を受賞しました。



(吹奏楽部)

【同窓会への寄付金のお願い】

同窓会活動は皆様の寄付金にて運営されております。
同窓会HPの充実による会員同士の情報交換、学生支援等には皆様の寄付金が後押しとなります。
ご協力をよろしくお願い申し上げます。

寄付金振込先

◎コンビニ決済・アプリ決済

本年よりコンビニでの払い込みと、スマホでのバーコード決済用の振込用紙を同封しています。
※1口5,000円と2口10,000円の2種類です。

◎郵便振替(口座番号: 01810-8-2985)

加入者名: 佐世保工業高等専門学校 同窓会
※上記振込用紙をご活用下さい。

◎銀行口座(十八親和銀行・日宇支店)


(普) 1272703: 佐世保高専同窓会事務局
(注) 氏名+期+科(例: オキシントロウ9M)
で振り込み願います。

【各支部の集い及び同窓会総会の予定】

◎佐世保支部の集い(2026年度)


- ・令和8年7月4日(土) 17:00~
- ・レオプラザホテル佐世保
- ・参加費 7,000円
- ・特に現旧教職員の皆様のご出席をお待ちしています。

◎総会(2026年度) 東京会場にて実施(次頁参照)



「長崎で働く」を叶える企業が
佐世保高専卒生を待っている！

キャリアを **誘致企業** へ
伸ばせる **ご紹介！**



ITエンジニア募集中！

シーエーシー(株) (株)ウイズ・ワン (株)九州DTS NCD(株) SocioFuture(株) 新晃工業(株)	アイサンテクノロジー(株) 京セラコミュニケーションシステム(株) (株)ハイ・アベイラビリティ・システムズ (株)神鋼環境ソリューション リコーITソリューションズ(株) SCSKニアショアシステムズ(株)	エムオーテックス(株) オリックス生命保険(株) トランスコスモス(株) (株)ニーズウェル メットライフ生命保険(株) ONE DEJIMA(株)
---	---	---

設計・電気エンジニア募集中！

アークレイ 長崎開発センター(株)	日揮(株)	(株)Wave Technology (株)タスク
----------------------	-------	---------------------------

(公財)長崎県産業振興財団 は 佐世保高専同窓会を応援しています
 Mail:mendan@joho-nagasaki.or.jp Tel:095-820-8890

詳しくはこちら

